

向島ニュータウン駅前地域 これまでの取組について

向島駅前まちづくり協議会
福井義定

1. 伏見区向島地域について

- ・この20～30年で向島地域に移り住んできたニュータウンの住民（約1万5千人）と、旧の向島の住民（約1万5千人）とがいる。
 - ・向島地域には、住宅供給公社の分譲マンション、UR、市営住宅がある。
- 外国籍等の住民は市営住宅に多い。
- ・住民の高齢化が課題

2. 向島地域の中国帰国者について

- ・20数年前から、現在のニュータウンに住まわれる方が増加
- ・帰国者1世の方は比較的地域との交流があるが、2世、3世の生活実態はよく分からない。
- ・醍醐の小栗栖地域の帰国者との交流
 - 奥山イク子さん（中国帰国者京都の会代表）を通じての交流が中心
 - 帰国者同志の交流を広げていくことも課題の一つ

3. 2010年（平成22年）2月に実施した交流会から

(1) 中国帰国者の方々からの意見、要望

- ア. これまでは、棟の他の住民との交流が少なかった。
 - 日本人、日本名で在りながら、日本語が話せない。
- イ. 中国社会では、家族の結び付きは濃いですが、自治会や町内会組織が無い。
- ウ. 帰国者1世は、支援金も支給されているので生活は安定している。
- エ. 地域との交流を進めたいので、場を作ってほしい。
- オ. 社会に貢献できるような活動を行いたい。
- カ. 1世がマナーなどの指導を2世、3世の方に促していきたい。
- キ. 日本語教室の開設をお願いしたい。
 - その後、1街区の集会室にて実現

(2) 自治会長からの意見、要望

- ア. 中国帰国者の一部には、ルール・マナー違反が目立つ。
 - 花壇に勝手に野菜を植える、ゴミ出しのルールを守らない。
 - ごみの捨て方のチラシ（中国語版）を京都市から手に入れて、配って回った。
 - ※必要な情報を必要ところに届ける取組が大切
- イ. 廃品回収などをする（ベランダで音を出しながら作業する）。
- ウ. 中国帰国者の方々にも、自治会の役員に積極的に協力してほしい。
- エ. 中国帰国者をまとめてほしい。
- オ. 棟によっては「おはよう」呼び掛け運動を行っており、帰国者の方々にも加わってほしい。

(3) その後

現在では、自治会に溶け込む努力もされて、トラブルも起きなくなっている。
帰国者1世の方たちが抱える問題では、高齢化に伴う課題が深刻。このことは、言葉の不自由を除けば他の住民と同様の条件にある。
しっかりと地域全体に目を配りコツコツと積み重ねていくことが大切である。

4. 地域の催しについて

- ・春の祭典（2007年（平成19年）～2009年（平成21年））
- ・秋の祭典（2010年（平成22年）～）
- ・伏見南部ふれあいプラザ（今年で4回目。毎年5月頃に実施）

5. 文教大学の取組

- ・ほっこりフェスタ（今年は6月30日、7月1日にニュータウンセンター広場周辺で実施）
→中国帰国者の方々も参加し、商店街の活性化に貢献

6. 中国帰国者向け日本語教室の取組

- ・2世、3世はほとんどの人が日本語には不自由していない。
→高齢化の進む1世が問題
- ・1街区集会所での日本語教室（第2,第4木曜日）
→2010年（平成22年）の交流会を受けて発足
- ・愛隣館での日本語教室（第1,第3木曜日）
→2008年（平成20年）から行われている。
- ・中国語教室の必要性
1世：日本語が話せない。
3世：日本語しか話せない。
→祖父母と孫との間で会話が交わせるように、3世が中国語を学ぶ場があれば良いとの意見が、交流会で出された。

7. 高齢化問題

- ・中国帰国者だけでなく、住民全体の高齢化が問題
 - ・地域包括支援センターに中国語を話せるスタッフを配置してもらうよう要望
- ※醍醐福祉事務所には中国語通訳が配置されている。

向島ニュータウンと中国帰国者の方々との交流の歴史

- 1977 (S52) 年 向島ニュータウン 2 街区、5 街区の入居が始まる。
3 街区建設工事始まる。
- 1979 (S54) 年 向島二の丸小学校が開校する。近鉄「向島駅」開設される。
- 1987 (S62) 年 二の丸北自治会連合会発足する。
- 1986 (S61) 年 二の丸北小学校開校する。向島図書館開館する。
- 1998 (H10) 年 二の丸北自治会連合会、市政協力委員連絡協議会会長を兼職する。
二の丸北社会福祉協議会発足する。
- 2005 (H17) 年 8 月 向島駅前の空き地に葬儀場進出問題起こる。
10 月 「向島駅前まちづくり協議会」発足する (1~5 街区)。
「向島駅前まちづくり憲章」を作成し葬儀場反対運動をする。
- 2008 (H20) 年 2 月 向島中央公園愛護協会発足する。
3 月 第 1 回向島駅前「春の祭典」開催 (京都文教大学の協力)
5 月 向島二の丸防犯パトロール隊発足する (1~5 街区)。
12 月 向島二の丸、二の丸北あんしんネットワーク発足する (1~6 街区)。
※このころ、「向島駅前まちづくり憲章」の看板を見て京都文教大学生が“まちづくり”への協力を申し出る。中国語の会話をよく耳にするようになる。公園で太極拳を見かける。
- 2009 (H21) 年 3 月 第 2 回「春の祭典」で中国帰国者の方々が餃子、肉まん等の模擬店で参加
- 2010 (H22) 年 1 月 「中国帰国者京都の会」設立記念集会に招かれ出席する。
2 月 向島地域の中国帰国者の方々と各自治会長との交流会を行う (各自治会への参画を促す)。
3 月 第 3 回「春の祭典」において中国帰国者の方々が二胡、フルス、舞踊等による舞台出演
7 月 中国帰国者が安心して暮らせるように福祉に関する中国語パンフレットの作成並び通訳者の窓口配置を京都市に要望し、地域福祉課と国際化推進室と懇談する。
※この頃から、日本語教室を 1 街区集会室にて実施
※「中国帰国者京都の会」の皆さんが第 4 回、第 5 回「秋の祭典」に舞台出演、模擬店に出店
- 2011 (H23) 年 7 月 向島ニュータウン商店会・夏祭りに中国帰国者の方々による模擬店出店
5 月 第 3 回「伏見南部ふれあいプラザ」に中国帰国者の方々が舞台出演
- 2012 (H24) 年 5 月 第 4 回「伏見南部ふれあいプラザ」に中国帰国者の方々が舞台出演、模擬店出店